

経営比較分析表（令和3年度決算）

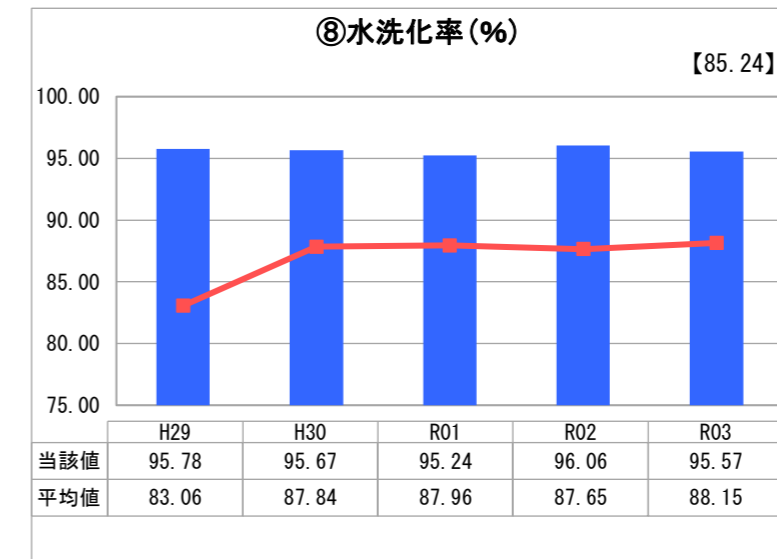
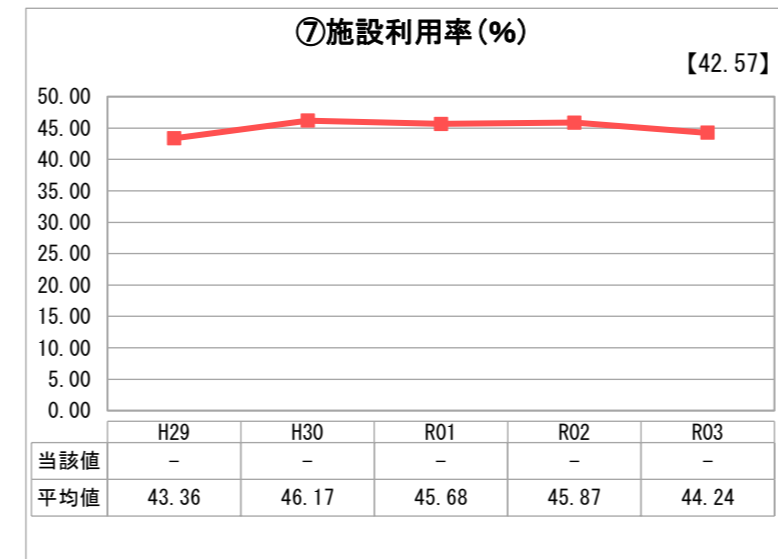
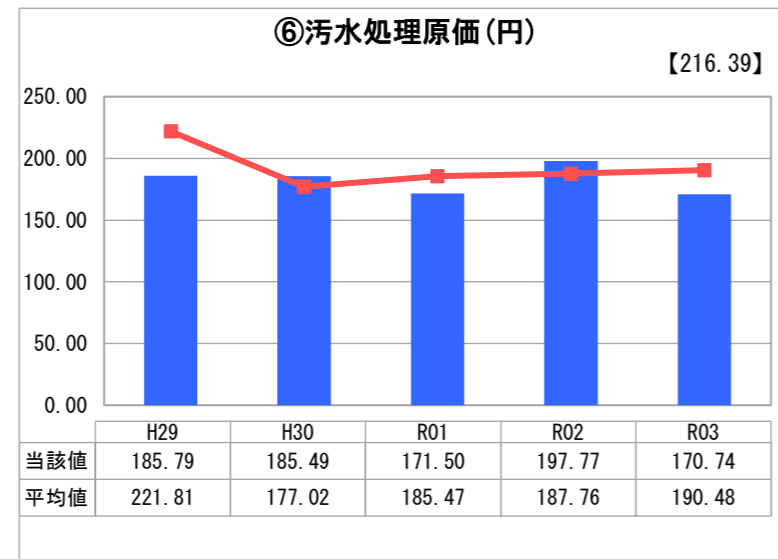
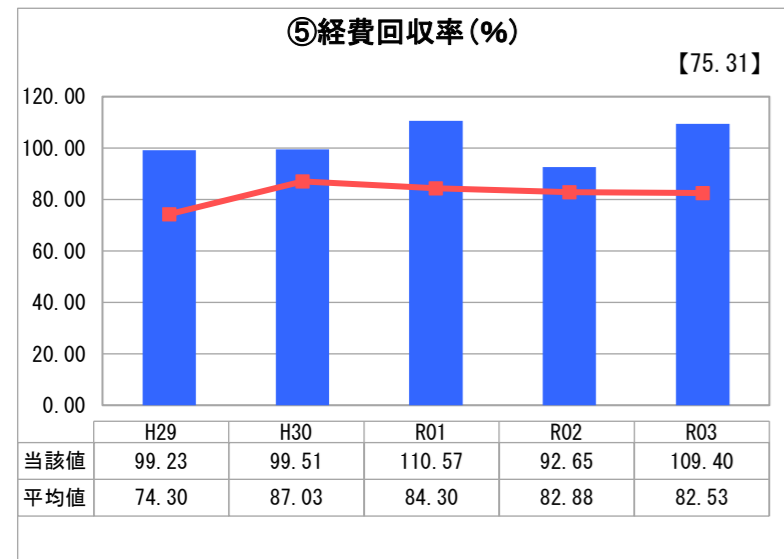
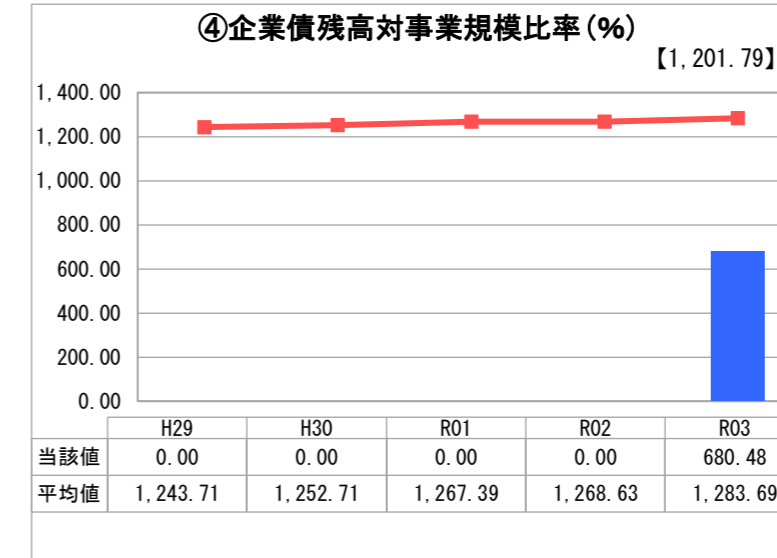
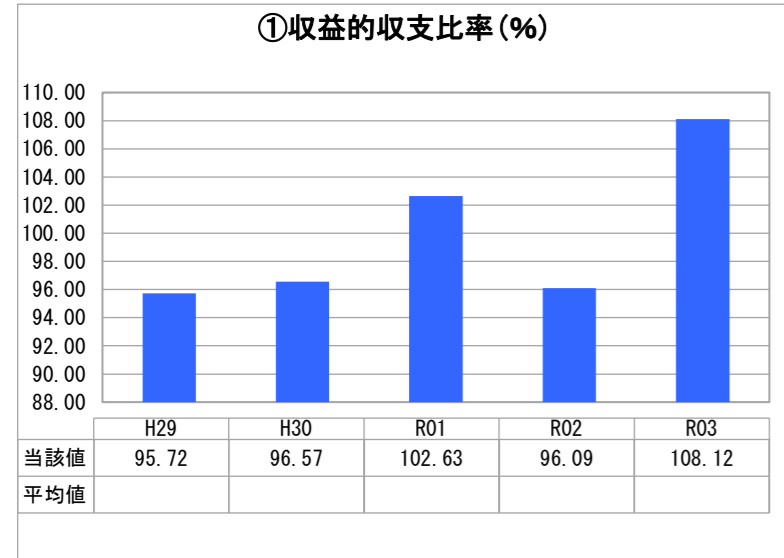
鳥取県 三朝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	69.38	86.71	3,520

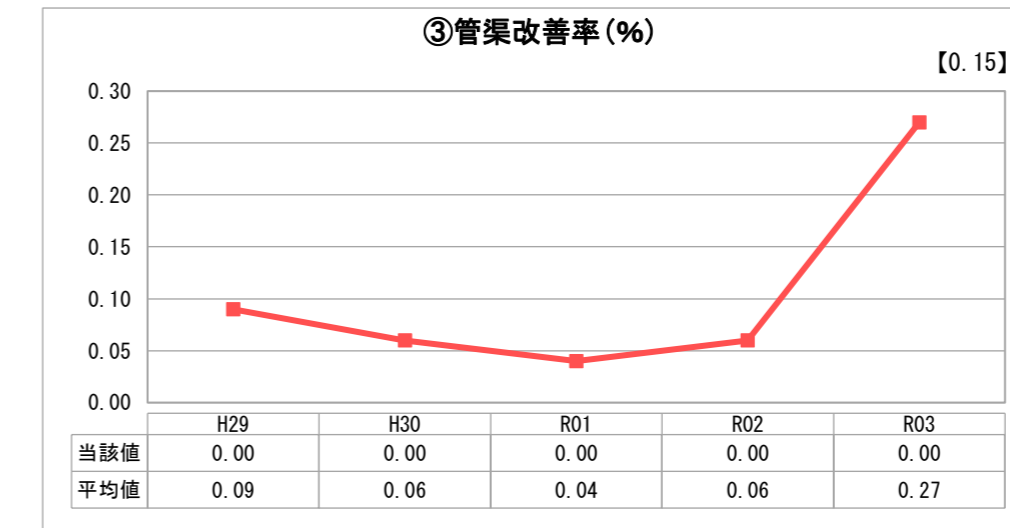
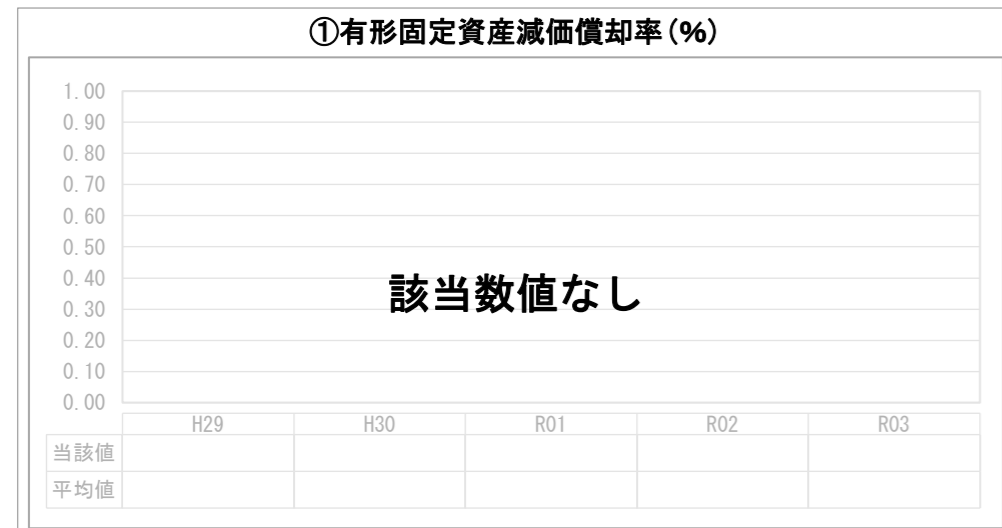
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,189	233.52	26.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,269	1.92	2,223.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は新型コロナウイルスによる規制が緩和され旅館などの事業所が営業を再開したため、昨年度と比べ処理水量が3.5%、料金収入が5.6%回復した。これにより①収益的収支比率⑤経費回収率で回復基調が見て取れる。なお、未納料金の徴収体制強化に伴い①、⑤の回復に影響したことも考えられる。

また、処理水量、料金収入ともに回復基調であるものの新型コロナウイルス流行前の平成30年度、令和元年度とまではいかず人口減少が影響しているため今後の施設改良時に処理人口を考慮し検討することとしている。

人口減少傾向が進むことに加えて、燃料価格の高騰、物価の高騰となっている状況を踏まえて、徴収体制強化や費用の見直し削減を進める一方で料金設定についても見直しが必要となってきている。

2. 老朽化の状況について

事故の発生や機能停止を未然に防ぐとともに、施設更新や維持管理コストの平準化を図るため、平成30年度に三朝町下水道ストックマネジメント計画を策定した。この計画に基づき、管渠はもとより施設についても更新を進めることとしている。

全体総括

経営環境が厳しさを増す中で、長期的かつ安定した経営基盤を確立することが必要となっています。

- ①人口が減少傾向にある中、安定した料金収入を確保するため、徴収率向上に加え料金体系の見直しを図る。
- ②三朝町下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽施設の更新整備を進める。
- ③外部委託による維持管理費の抑制など、経費の削減についても検討を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。